

# カニや虫捕まえた

## 児童ら水生生物を調査

高鍋・小丸川

高鍋町などを流れる小丸川の水質を調べようと、管轄する国土交通省宮崎河川国運事務所(宮崎市)は、高鍋自然愛好会(時任伸一会長)と協力をし、30日、同町の竹橋橋下流とその周辺で水生生物調査を行った。

町内の小学生とその保護者26人が参加。見直しは同事務所職員から水生生物の特徴や川に入る際の注意点を説明を受けた後、救命胴衣を着用し、生物を捕まえるための網を持って川に入った。

見直しは水に漬かると「冷たい」と大はしゃぎ。網で川底の砂利をまくったり、石をひっくり返したりしてエビやタニシなどを採った。高鍋

東小1年の広瀬輝君(6)はカニ2匹を捕まえた喜び。「いろいろな魚や生き物がいて楽しかった」と笑顔を見せた。

捕まえたのはウラカニやくヒトシホなど。これらは水質の階級4段階中の最上位「きれいな水」に生息する生き物に当たる。同会の坂田佐一郎副会長(7)は「昨年よりもきれいな水にも生き物が増えていて良かった。調査後、子どもたちは水遊びも楽しみ、喜んでくれたのが何よりもうれしい」と話していた。

網で砂利をすくい水生生物を捕まえる子どもたち



網で砂利をすくい水生生物を捕まえる子どもたち